

市民と議会を結ぶ架け橋

上野原市 議会だより


No. 70
令和4年
8月発行

6月定例会



特集

うえのはらで頑張る人
救急隊のみなさん

特集 うえのはらで頑張る人	2
定例会で決まった主なこと	4
議決結果等一覧表	6
会期中の審査	7
一般質問	8
閉会中の活動	14
議員定数・報酬等	15
市民の声	16



うえのはらで頑張る人 Vol.23

救急隊のみなさん



119番で出動の要請を受けると救急車に乗り現場に急行し、病院へ搬送しますが、その間生命に危険のある病気等の人に対して必要な救急処置を行っています。日夜、市民の命・身体を守る大切な仕事に携わっている『救急隊員』の方々にお話を伺いました。

適切な処置を行い
適切な病院へ搬送するために

職員数や救急件数

消防署職員は全部で47名(女性職員は2名)います。救急隊として現場に出ているのは44名で、うち救命士は17名、医師の行うような挿管ができる認定救命士は10名です。

年間の出動回数は、直近の令和3年が1068件でした。ちなみにコロナ禍前の令和元年は1200件、コロナ禍に入った令和2年は1107件です。榎原や秋山は救急件数が減っていますが本署は増えているため、全体数は変わっていません。

救急救命士のこと

救急車に3名同乗していくのですが、1名以上の救命士資格を持った隊員が乗車するよう運用しています。しかし、救急救命士の資



格を全員が持っていないので、救急車に救命士が乗車出来なかった事例も令和3年に14件程あります。

心肺停止状態の傷病者に対して、救命士は、医師の指示のもとに輸液や薬剤の投与などができません。救命士の資格がないとできません。

女性隊員のお話

現場では興奮状態の方や動揺している小さいお子さん等の気分を和らげる事ができません。女性の傷病者の場合、体に接触することもあるため、男性の隊員より女性の隊員でよかったといった事もありました。救命士の資格取得については、先輩方より取った方がいいよと言われています・・・。



コロナ禍になって

■ 防護服やマスクは今迄、不織布素材の物でしたが、より密閉性の高い物になりました

た。しかし、これから夏になると暑くなりますので、自分達が熱中症等にならないよう気を付けています。



■ 搬送後、帰着してからの救急車の清掃や消毒がコロナ前は10分程で終わっていたのが30分以上かかるようになりました。

■ 感染者の搬送が県立中央病院等、指定された病院になるため一回の搬送で約3時間かかります。重複して出勤することが増え署内が手薄になる事が多くなりました。

■ 要請先に電話をかけなおし、患者さんの症状を聴きながら現場に向かいます。発熱や咳をしている等コロナ対応が必要と判断した場合、室内の換気等、細かい対応をお願いし、現場に着いてからも保健所に連絡するなどやる事がかなり増えました。

■ 収容を断られる確率が増え、病院がなかなか決まらないといった悪影響が出ており、救急隊の負担が重くなっています。患者さんの状態が悪い程、断られた時の私達の精神的ストレスは大きいですね。多いときは10ヶ所電話して断られた事もありま

す。

■ 特にコロナ禍になってからは職員本人だけでなく家族に熱や咳の症状が出たり、コロナ陽性者が出れば濃厚接触者となり2週間は出勤できなくなるので、日々人員の確保にやりくりをしています。

議会に対する要望は

すべての職員に資格取得をして欲しいと思っています。しかし救命士の資格を取得するのに研修に6〜8ヶ月間人員がいなくなりますので、なかなか研修に出せない状況です。条例で定数を増やさないと限り、研修に行かせたくても行かせられないといった悪循環になっています。一言でいえば人を増やせるようにしていただきたいという所です。

先遣隊が出ていると、2件目の方には先遣隊が帰って来るまで少々お待ちくださいといった状況がすぐそこまで来ています。

取材を終えて

24時間体制の過酷な勤務体制の中、日々奮闘している救急救命士をはじめ隊員のマンパワー不足を強く感じました。課題を改善すべく議会としても隊員不足解消へ力を注いでいきたい。

6月
定例会

定例会で決まった
主なこと

令和4年第2回定例会が6月2日から6月17日まで16日間の日程で開かれました。

審議された議案

市長提出議案	26件
発議	1件
計	27件

※ 議案名・議決結果等は6ページをご覧ください。

条例
改正

国民健康保険税と
介護保険料の減免を実施

新型コロナウイルス感染症の影響により収入の減少した被保険者等に関わる、国民健康保険税と介護保険料の減免を、令和4年度も引き続き実施、要件は令和2年度・3年度と同様。

議案第59号

上野原市国民健康保険税条例及び上野原市介護保険条例の一部を改正する条例制定について

条例
制定

ゆずりはら自然の里に
幅広く集客するための条例



令和5年3月末をもって県の施設としての運営を終了し、市が引き続き運営を行うため、名称を新たにし、子どもから高齢者まで幅広く利用出来るようにするための条例を制定するものです。
指定管理者制度を導入し、運営を委託します。

議案第60号

上野原市立ゆずりはら自然の里条例制定について

条例
制定

行政手続きでの押印の見直し

国が進める行政のデジタル化における、規制・制度見直しの一環として、本人確認の必要性が低い手続きについては、押印を廃止。個々の手続きについては、押印見直し基準に沿って判断し、今後も申請手続きの簡素化や内部手続きの効率化によって、市民の利便性を高めていくための関係条例の改正です。

議案第58号

行政手続等の押印の見直しに伴う関係条例の整備に関する条例制定について

議案第61号 令和4年度上野原市一般会計補正予算(第1号)

正算
補正

総額6億2987万3千円の
増額補正

主な事業

- 辺地対策事業 2640万円
- 公共事業等 ▲6680万円
- 緊急自然災害防止対策事業 8300万円
- 過疎対策事業 ▲450万円
- クリーンセンター火災損害賠償金 4億6215万7千円

議案第70号 令和4年度上野原市一般会計補正予算(第2号)

正算
補正

生活困窮世帯支援
学校給食費半額補助等

国から新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金及び県から生活困窮世帯緊急生活支援金給付事業補助金が追加されたことに伴うもの。

増額となった主な事業

- 生活困窮世帯緊急生活支援金給付事業 5391万5千円
- 学校給食費管理運営事業費
- 給食材料費の増額「一食あたり30円」 593万1千円
- 給食費を半額助成するための歳入減 2889万6千円

議案第68号 上野原市固定資産評価員の選任の同意について
議案第72号 上野原市教育委員会教育長の任命の同意について

人事
案件

固定資産評価員の選任
教育長の任命を同意

- 固定資産評価員 清水 靖夫 氏
- 教育委員会教育長 土屋 すみじ 氏

議案第67号 火災事故の和解について

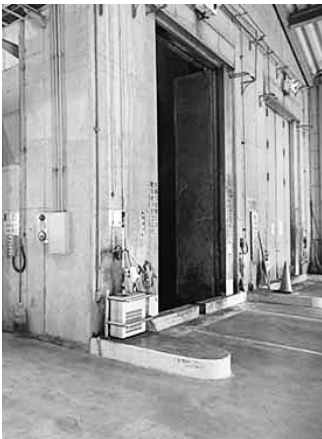
和解

クリーンセンター火災事故の和解

令和3年2月25日に発生した上野原市クリーンセンター焼却施設の火災事故に関し和解するものです。

和解相手

- 東京都千代田区西神田一丁目4番5号 東光電気工事ビル
- テスコ株式会社 代表取締役 高橋 久治
- 損害賠償金 4億6215万7659円



令和4年第2回定例会議決結果等一覧表

◆賛否のあった議案 (○賛成 ●反対 ◎賛成討論者 ●反対討論者)

議案番号	付託委員会	案 件 名	内田倫弘	八木一雄	山口 薫	白鳥純雄	遠藤美智子	川田好博	東山洋昭	川島秀夫	杉本文文	山口好昭	長田喜巳夫	杉本友栄	尾形幸召	岡部幸喜	尾形重貞	審議結果	
発議 4	—	上野原市議会議員定数条例の一部を改正する条例制定について	○	●	○	○	●	◎	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
69	—	上野原市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例制定について	○	●	○	○	○	◎		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

◆全会一致の議案

議案番号	付託委員会	案 件 名	審議結果
47	—	専決処分の承認を求めることについて（上野原市税条例等の一部を改正する条例制定について）	承認
48		専決処分の承認を求めることについて（上野原市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について）	
49		専決処分の承認を求めることについて（令和3年度上野原市一般会計補正予算（第9号））	
50		専決処分の承認を求めることについて（令和3年度上野原市国民健康保険特別会計補正予算（第4号））	
51		専決処分の承認を求めることについて（令和3年度上野原市後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号））	
52		専決処分の承認を求めることについて（令和3年度上野原市介護保険特別会計補正予算（第4号））	
53		専決処分の承認を求めることについて（令和3年度上野原市大目財産区特別会計補正予算（第3号））	
54		専決処分の承認を求めることについて（令和3年度上野原市甲東財産区特別会計補正予算（第2号））	
55		専決処分の承認を求めることについて（令和3年度上野原市檜尾根外十二恩賜林保護財産区特別会計補正予算（第2号））	
56		専決処分の承認を求めることについて（令和3年度上野原市秋山財産区特別会計補正予算（第2号））	
57		専決処分の承認を求めることについて（令和3年度上野原市西棚ノ入外十一恩賜林保護財産区特別会計補正予算（第2号））	
58	総務産業	行政手続等の押印の見直しに伴う関係条例の整備に関する条例制定について	可決
59	上野原市国民健康保険税条例及び上野原市介護保険条例の一部を改正する条例制定について		
60	文教厚生	上野原市立ゆずりはら自然の里条例制定について	可決
61	予算特別	令和4年度上野原市一般会計補正予算（第1号）	
62		令和4年度上野原市簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）	
63		令和4年度上野原市島田財産区特別会計補正予算（第1号）	
64	—	令和3年度上野原市継続費繰越計算書の報告について	受理
65		令和3年度上野原市繰越明許費繰越計算書の報告について	
66		令和3年度上野原市事故繰越し繰越計算書の報告について	
67	文教厚生	火災事故の和解について	可決
68	—	上野原市固定資産評価員の選任の同意について	同意
70		令和4年度上野原市一般会計補正予算（第2号）	可決
71		消防団用軽積載車4台購入契約締結について	
72		上野原市教育委員会教育長の任命の同意について	同意

※ 「—」は委員会付託が省略された議案です。

総務産業常任委員会

委員長 長田喜巳夫
副委員長 尾形幸召
委員 山口 薫
白鳥純雄
東山洋昭
杉本公文
岡部幸喜
尾形重寅

6月9日委員会を開催し、付託された条例制定2件を審査しました。

議案第58号「行政手続き等の押印の見直しに伴う関係条例の整備に関する条例制定について」は、国が進める行政のデジタル化における、規制・制度見直しの一環として、地方公共団

体における押印見直しマニュアルが示されたことに伴い、市も見直しを行うものです。本人確認の必要性が低い手続きについては、押印を廃止することとし、

個々の手続きについては、見直し基準に沿って判断し、押印継続の検討基準に該当しない手続きについては廃止することと

です。

議案第59号「上野原市国民健康保険条例及び上野原市介護保険条例の一部を改正する条例制定について」は、新型コロナウイルス

ウィルス感染症の影響により収入の減少した被保険者等に関わる、国民健康保険税と介護保険料の減免を、令和4年度も引き続き実施するもので、要件は令和2年度及び3年度と同様のことです。

以上2案件について、いずれも全会一致で原案どおり可決すべきものと決定しました。

また、閉会中の継続調査として土地利用について、調査をすることとなりました。



文教厚生常任委員会

委員長 内田倫弘
副委員長 杉本友栄
委員 八木一雄
遠藤美智子
川田好博
川島秀夫
山口好昭

6月9日委員会を開催し、付託された条例制定1件、火災事故の和解について1件を審査しました。

議案第60号「上野原市立ゆずりはら自然の里条例制定について」は、令和5年3月末で県としての運営を終了し、市が引続き運営を行うため制定するものです。

主な内容として、管理は指定管理者が行い、支払われた利用料金は指定管理者の収入とする、市は指定管理料を支払わないものとする、利用料金と指定

管理者から市への納入金の額について、双方が協議の上決定すること等の説明がありました。

また、本年7月下旬に指定管理者の選定を行い、9月議会に指定管理者指定の議案上程を経て、令和5年4月から指定管理業務を開始するスケジュールと

のことです。

議案第67号「火災事故の和解について」は、令和3年2月に発生したクリーンセンター焼却施設の火災事故に関し、テ

スコ株式会社と和解し、相手方が対市に対し、4億6千215万7千659円の損害賠償金を支払うものです。

以上2案件について、いずれも全会一致で原案どおり可決すべきものと決定しました。

また、閉会中の継続調査として少子化対策について、調査をすることとなりました。



各議員の主な質問項目

山口薫議員

- 1 市庁舎等公共施設の有効活用について
- 2 NTT光の活用エリア拡大に関する進捗状況について 他

白鳥純雄議員

- 1 公共施設長寿命化への取り組みは
- 2 まちづくりへの取り組みは

山口好昭議員

- 1 上野原市全部過疎地域指定、取り組みによる当市の未来像について
- 2 水道法に基づいた当市の水道行政、簡易水道改革について

長田喜巳夫議員

- 1 総合戦略について
- 2 長期総合計画の策定について 他

杉本公文議員

- 1 教育行政について
- 2 家庭ゴミの有料化について 他

川島秀夫議員

- 1 情報基盤事業の今後の在り方
- 2 商店街等応援事業について 他

八木一雄議員

- 1 文化財常設展示施設の整備に向けて
- 2 「放課後健全育成事業の改善」への取り組み 他

遠藤美智子議員

- 1 地方創生臨時交付金の活用について
- 2 成人の帯状疱疹ワクチン接種費用の助成について 他

尾形幸召議員

- 1 談合坂スマートインターチェンジの検証と今後の方向性について

川田好博議員

- 1 過疎地域の指定について

内田倫弘議員

- 1 上野原市のDX推進について
- 2 上野原市公式LINE事業について 他

持続可能な上野原のために、
いま、最善の対策を！



山口 薫

質問

市の環境計画に、再生可能エネルギー導入への支援策が示されています。温室効果ガス削減や非常電源確保

答弁

屋根の設置については、庁舎修繕、緊急性、活用効果等を勘案し、特定財源の有無等事業実施の可能性と方向性を検討していきます。

質問

市役所のセンタープラザに屋根をつけられ、防災、商業、教育、環境面で様々なメリットが見込まれる。設置に向けて検討を。

答弁

市もNTT光のエリア拡大に向けて積極的に交渉しています。相手から「前向きに準備を進めています。サービス開始に1年程度必要」とも聞いています。

質問

NTT光を市内全域で使えるようにすることが、人口流出防止やオフィス誘致につながると思う。NTT側との協議経過と今後の見通し等について伺います。

答弁

国や県の方向性も踏まえ、地域防災計画に記載の避難所の見直し、地区に応じた水防計画の策定の協力、水防資機材の配置等について検討いたします。

質問

昭和57年に新田地区では、119戸が床上等浸水した水害が発生している。この教訓から水防資機材の配置や水防計画の見直しについて再検討すべきである。

答弁

助成については他市町村の状況を参考に制度化に向けて取り組んでいきます。



公共施設の長寿命化とまちづくり



白鳥純雄

質問

地域にある集会所施設の今後の維持管理についての取り組みを伺います。

答弁

修繕を重ねながら建物を維持し、新たな市単独施設としての建て替えは想定していません。他の施設との複合化や、他地区集会所施設との統合化を図ります。

質問

消防署榎原出張所は備から30年以上経過するが、当初の基準と現在では、運用内容も変わり建物の老朽化対策も含め、どのような認識で取り組むのか伺います。

答弁

昭和56年の耐震化基準を充たしているが老朽化率が84%であるため、小規模改修を行い機能維持しています。車両の大型化、個人装備品の増加や無線、指令機器の収容物増加等に伴い、各所狭隘化し、職員に負担を強いているが、環境整備等工夫をして対応しています。マネジメント計画に基



づき、早期の事業化を目指し協議を進めます。

質問

駅南口県道交差点整備状況と、諏訪地区に向かう市道整備について伺います。

答弁

交差点は、用地取得が済み次第、県から工事発注がされる予定、市道側は令和5年度までに完成するように取り組んでいます。その後、市道未改良箇所は、地権者と地区住民の理解を頂けるよう丁寧に対応します。

他に、四日市場上野原線狭隘箇所について、ワンストップ業務について等質問しました。

市全部過疎地域指定による
当市の未来像について



山口好昭

質問

当市は令和3年、秋山地区が過疎指定され、令和4年に当市全域が指定された。制度の概要と指定要件、経緯について伺います。

答弁

本年4月1日には過疎地域持続的発展の支援に関する特別措置法、第43条の規定により平成7年から令和2年迄の25年間の人口減少率23%以下と平成30年から令和2年度の3ヶ年平均の財政力指数0・51%以下が基準を満たしたことからこの度市全域が過疎指定となりました。

質問

過疎指定による交付税算入等、財政支援について伺う。

答弁

特別措置法における過疎地域の指定により国から受けられる主な支援措置として過疎対策事業債、基幹道路や公共下水道等の都道府県代行制度、教育施設等の国库補助率のかさ上げ、政府系金融機関等の低利貸し付

が可能となる金融措置、地方税の課税免除、不均一課税に伴う交付税による減収補填措置等があります。この内過疎対策事業債については過疎市町村が市町村計画に基づいて行う事業の財源として特別に発行が認められました充当率原則100%で元利償還金70%が交付税措置されます。産業振興施設、交通通信施設、厚生施設、教育文化施設等の施設整備が対象となるハード事業と住民が安心安全に暮らすことができる地域社会の実現を図る為に必要と認められるソフト事業が対象となります。

生活基盤の確立について



長田喜巳夫

質問

簡易水道組合の組織数と規模、濾過施設整備の状況と今後の整備方針は。

答弁

簡易水道組合は13組合、小規模水道組合は15組合です。濾過施設設置組合は簡易水道組合で9施設、小規模水道組合で2施設です。今後の整備方針は、各組合の意見を伺いながら統合も視野に検討していきます。

質問

濾過施設の整備は、良好な飲料水を確保のため極めて重要である。整備されている組合は半数以下で、特に小規模の場合は2組合という状況にあり、負担金の見直しが必要である。

答弁

小規模水道組合は整備が進まず、金額の面において検討していきます。なるべく早く安心して飲める飲料水の確保に努めていきます。

意見

持続可能な地域社会構築のためにも負担金の見直しを求める。

質問

合併浄化槽の普及方針になるが、既存の単独槽から合併槽へ切替えの状況は。

答弁

平成29年度が21基、30年度10基、令和元年度3基、2年度6基、3年度4基という状況です。

質問

残り約3300世帯以上が合併槽の対象世帯であり、合併槽への切り替え方針が求められる。

答弁

河川、水質の保全という目的があるので、方針を検討していきます。

意見

切替え方針が必要である。

他に、総合戦略、長期総合計画の策定について質問しました。

質問

ゴミの減量化と分別を促進し、資源化率の向上等を目的に、指定袋による家庭ゴミ有料化を、令和6年1月に実施予定であるが、準備の状況は。

答弁

有料化に向けての事務は進めており、今、指定袋の業者からの見積もりの提出を受けたり、管理システムの導入についても検討しています。しかし、有料化の前にゴミの減量化を図ることが重要だと考え、ゴミの細分化など減量しやすい環境への取り組みを現在考えています。また、昨今の社会情勢の変化による物価の高騰の中、原材料価格の上昇や、市民の負担増となることなども考慮し、今後の動向等を注視し適切なタイミングで有料化を実施したいと考えています。

家庭ゴミの有料化について
実施の準備と市民への周知は



杉本公文

答弁

前回、市民に周知するため事業の内容が記載された概要版パンフ等を4年度早々に全戸配布するとの答弁であったがどうしたのか。

概要版についてはQ&Aも一緒に挟み込んで全戸配布を行う予定でしたが、その前に取り組むべき分別等を検討するため見送りました。周知には必要だと思えますので、7月から8月には配布する予定です。

他に、教育行政について、情報通信の整備について質問しました。



質問

この事業の実施には市民の理解と協力が不可欠です。



情報通信事業の在り方について
GIGAスクールの現状は



川島秀夫

質問 情報通信事業の今後の在り方について。

答弁 昨年12月以降たびたびNTTとの交渉を重ねてきておりますが、先方事業者側の事情により回答が遅れ今日に至っています。

答弁

一人一台端末と全ての教室に高速WiFi、家庭学習を視野に情報通信環境の整備を行ってきました。授業での端末活用に加え、家庭への持ち帰りも可能になり、コロナ禍臨時休校や分散登校を余儀なくされた折も、学びを止めることなく、GIGA端末活用につなげる事が出来ました。

意見 (コモオの問題) コモオはCATVの同軸ケーブル改修で30年前のシステムに復旧させる段取りをしている。市の情報通信基盤事業の帰趨は、コモオのCATV改修選択肢に大きく関わり現在復旧事業は、保留中でありませう。

他に、心配される読解力、教員の働き方改革、商店街等応援事業及びキャッシュレス化に特化した理由について質問しました。

質問

GIGAスクール実施1年



学童保育所施設の環境整備
駅前「送迎保育ステーション」



八木一雄

質問

学童保育所(コモコモ、風の子)の施設内トイレの数がそれぞれ一つしか無く児童が不自由を強いられている。以前から増設の要望を関係者から出されているが実行されていない。喫緊の課題として早急にトイレの増設を行う考えは。

答弁

迎負担の軽減に向けた施設として駅前に「送迎保育ステーション」を設ける事への検討・取り組み状況は。今後必要とされる新たなサービスとの検討や提案を行う中で駅前「送迎保育ステーション」設置についても先進地視察(流山市)を通じて調査研究を行なっていく予定です。

質問

子育て支援の更なる充実に向け働きながら子育てができる環境の整備の一環として、保育所への保護者の送

他に、文化財施設の整備に向けた関係各課との共有目標の明確化と、通学路緊急安全対策の改修・整備状況の進捗について質問しました。



地方創生臨時交付金の活用 「おくやみ手続き窓口」の設置



遠藤美智子

質問

4月に「原油価格・物価高騰対応分」として、当市に地方創生臨時交付金9千9百2万6千円が提示された。市民の生活や事業者への支援策として交付金を充当する事業計画は策定したのか。

答弁

現在、庁内で検討調整中です。

意見

私は4月に市内の事業者や生活者を訪問し、物価高の影響による実情を聴きました。寄せられた声を5項目にまとめ、5月に緊急要望書を市長へ提出しました。今後、早急に市民の声を反映し地域の実情に合った交付金の活用を。

質問

令和3年度の死亡届の受付数は446件、その内約350件が市民課窓口に出しています。死亡届は市民課だけでなく、税務課やふじみの福祉課等にも関係する手続きが必要です。ご

答弁

ご遺族の負担軽減を第一に考え、業務改善に向け十分に検討していきます。

意見

死亡届については、既にICITを活用したネットによる受付をスタートした自治体もある。新たに「お悔みハンドブック」の作成等も含め、今後のご遺族の負担軽減につながる市民サービスの向上を期待します。他に、带状疱疹ワクチン接種費用の助成について質問しました。



談合坂SICの検証と方向性 西部丘陵地域の活性化策



尾形幸召

質問

上下線、年月別交通量は、

答弁

開通後の利用台数は令和2年6月2万215、7月2万1204、8月2万7426、9月2万3826、10月2万4698、11月2万7433、12月2万3211、令和3年1月1万7461、2月1万9380、3月2万4354、4月2万5925、5月2万8370です。

質問

SIC設置計画時の日量

答弁

1日当たり1300台で、平均交通量は令和2年度734台、56.5%です。

質問

目標未達が大幅の場合、市の補助金負担は。

答弁

そのような話は伺っていません。

質問

市道安達野大野線の改良は。

答弁

令和6年度までの3ヶ年で2車線化の改良予定です。

質問

SIC周辺の県道の改良

は。

答弁

犬目地内の宝勝寺下の狹隘なカーブの改良、荻野地内の改良は課題があり進展していません。

質問

県道、野田尻四方津停車場線改良は。

答弁

富士東部建設事務所にお聞きしたところ、県道の敷地が未登録であり路線測量を行っているが、地権者の協力が得られていないとのことと進展なしです。

質問

西部丘陵地域の未利用地の活性化策は。

答弁

当地域の周辺整備につきましては市道、県道の拡幅を改善すべき優先事項について県に陳情を行いました。



一般質問

深刻な人口減少に対策を



川田好博

質問 市全域が過疎地に指定されたことに関して、人口減少と減少率は。

答弁 市全域が過疎地に指定されたことに関して、人口減少と減少率は、25年間で7571人減少。減少率は25・06%。

質問 上野原市と似ている埼玉県飯能市でも減少率は10%。上野原市は、深刻だ。

答弁 深刻に受け止めなくてはなりません。

質問 上野原市の就業者の3分の1は、東京、神奈川に勤めている。

質問 上野原駅周辺の風致地区見直しも必要では。

答弁 上野原駅周辺の風致地区見直しも必要では。

質問 こうした方のニーズを把握して、必要な事業展開が重要です。

答弁 地域のみなさんが大切に築き上げた景観や風景を損なうことのないよう各種計画に基づき、慎重に適正に進めていきたいと考えています。

質問 中小企業、個人事業主が事業の継続のために、要望を聞き取ることが大切。

答弁 引き続き商工会や工業団地組合などと意見交換、情報共有の場を定期的に持ちます。

質問 上野原駅周辺の風致地区見直しも必要では。

答弁 地域のみなさんが大切に築き上げた景観や風景を損なうことのないよう各種計画に基づき、慎重に適正に進めていきたいと考えています。

質問 事業に至る背景は。

答弁 コロナ禍において接触や密集を避けるため、デジタルを活用した行政と市民とのコミュニケーションが重要視されています。市民が使いやすいデジタルツールを整備する事が解決の一つと考えられています。

質問 事業の目的は。

答弁 事業の目的は、新型コロナウイルス感染症防止対策や、幅広い世代への情報発信の強化、市民がアクセスし易い行政窓口、利便性の高い通知を提供する事が目的です。

質問 事業の内容は。

答弁 市からのお知らせやイベント情報の配信、市のウェブサイトや関連サイトへのリンク、質問への回答を自動で行えるAIチャットボット機能を備え、市民の皆様が聞きたい、知りたい情報を24時間取得できる仕組みを強化するものです。

質問 今後の公式LINEの展望は。

答弁 市からの情報や、市民が必ず要とする情報が迅速かつ正確に伝える事が重要です。回覧板の様な地域に密着した情報の発信強化や、市民が知りたい情報を分かり易く伝えるAIチャットボットの充実、また先進自治体の事例を参考に、内容をバージョンアップしたいと考えています。更に電子申請手続は、やまなしくらしねっとへのリンク付けや、LINEの使い易さを生かした市民アンケート、市民からの情報提供といった機能や、防災機能の充実を図っていききたいと思えます。

質問 市からの情報や、市民が必ず要とする情報が迅速かつ正確に伝える事が重要です。

答弁 回覧板の様な地域に密着した情報の発信強化や、市民が知りたい情報を分かり易く伝えるAIチャットボットの充実、また先進自治体の事例を参考に、内容をバージョンアップしたいと考えています。更に電子申請手続は、やまなしくらしねっとへのリンク付けや、LINEの使い易さを生かした市民アンケート、市民からの情報提供といった機能や、防災機能の充実を図っていききたいと思えます。

質問 遊び場、通学路の安全、小児科の充実などが必要。

答弁 そのようなことも必要と考えています。

質問 通勤者のために深夜バスの

答弁 通勤者のために深夜バスの

質問 通勤者のために深夜バスの



市の公式LINE事業について



内田倫弘

質問 事業に至る背景は。

答弁 コロナ禍において接触や密集を避けるため、デジタルを活用した行政と市民とのコミュニケーションが重要視されています。市民が使いやすいデジタルツールを整備する事が解決の一つと考えられています。

質問 今後の公式LINEの展望は。

答弁 市からの情報や、市民が必ず要とする情報が迅速かつ正確に伝える事が重要です。回覧板の様な地域に密着した情報の発信強化や、市民が知りたい情報を分かり易く伝えるAIチャットボットの充実、また先進自治体の事例を参考に、内容をバージョンアップしたいと考えています。更に電子申請手続は、やまなしくらしねっとへのリンク付けや、LINEの使い易さを生かした市民アンケート、市民からの情報提供といった機能や、防災機能の充実を図っていききたいと思えます。

質問 事業の目的は。

答弁 事業の目的は、新型コロナウイルス感染症防止対策や、幅広い世代への情報発信の強化、市民がアクセスし易い行政窓口、利便性の高い通知を提供する事が目的です。

質問 事業の内容は。

答弁 市からのお知らせやイベント情報の配信、市のウェブサイトや関連サイトへのリンク、質問への回答を自動で行えるAIチャットボット機能を備え、市民の皆様が聞きたい、知りたい情報を24時間取得できる仕組みを強化するものです。

質問 今後の公式LINEの展望は。

答弁 市からの情報や、市民が必ず要とする情報が迅速かつ正確に伝える事が重要です。回覧板の様な地域に密着した情報の発信強化や、市民が知りたい情報を分かり易く伝えるAIチャットボットの充実、また先進自治体の事例を参考に、内容をバージョンアップしたいと考えています。更に電子申請手続は、やまなしくらしねっとへのリンク付けや、LINEの使い易さを生かした市民アンケート、市民からの情報提供といった機能や、防災機能の充実を図っていききたいと思えます。

質問 市からの情報や、市民が必ず要とする情報が迅速かつ正確に伝える事が重要です。

答弁 回覧板の様な地域に密着した情報の発信強化や、市民が知りたい情報を分かり易く伝えるAIチャットボットの充実、また先進自治体の事例を参考に、内容をバージョンアップしたいと考えています。更に電子申請手続は、やまなしくらしねっとへのリンク付けや、LINEの使い易さを生かした市民アンケート、市民からの情報提供といった機能や、防災機能の充実を図っていききたいと思えます。

質問 市からの情報や、市民が必ず要とする情報が迅速かつ正確に伝える事が重要です。

答弁 回覧板の様な地域に密着した情報の発信強化や、市民が知りたい情報を分かり易く伝えるAIチャットボットの充実、また先進自治体の事例を参考に、内容をバージョンアップしたいと考えています。更に電子申請手続は、やまなしくらしねっとへのリンク付けや、LINEの使い易さを生かした市民アンケート、市民からの情報提供といった機能や、防災機能の充実を図っていききたいと思えます。

質問 市からの情報や、市民が必ず要とする情報が迅速かつ正確に伝える事が重要です。

答弁 回覧板の様な地域に密着した情報の発信強化や、市民が知りたい情報を分かり易く伝えるAIチャットボットの充実、また先進自治体の事例を参考に、内容をバージョンアップしたいと考えています。更に電子申請手続は、やまなしくらしねっとへのリンク付けや、LINEの使い易さを生かした市民アンケート、市民からの情報提供といった機能や、防災機能の充実を図っていききたいと思えます。

質問 市からの情報や、市民が必ず要とする情報が迅速かつ正確に伝える事が重要です。

答弁 回覧板の様な地域に密着した情報の発信強化や、市民が知りたい情報を分かり易く伝えるAIチャットボットの充実、また先進自治体の事例を参考に、内容をバージョンアップしたいと考えています。更に電子申請手続は、やまなしくらしねっとへのリンク付けや、LINEの使い易さを生かした市民アンケート、市民からの情報提供といった機能や、防災機能の充実を図っていききたいと思えます。

質問 市からの情報や、市民が必ず要とする情報が迅速かつ正確に伝える事が重要です。

答弁 回覧板の様な地域に密着した情報の発信強化や、市民が知りたい情報を分かり易く伝えるAIチャットボットの充実、また先進自治体の事例を参考に、内容をバージョンアップしたいと考えています。更に電子申請手続は、やまなしくらしねっとへのリンク付けや、LINEの使い易さを生かした市民アンケート、市民からの情報提供といった機能や、防災機能の充実を図っていききたいと思えます。

質問 市からの情報や、市民が必ず要とする情報が迅速かつ正確に伝える事が重要です。

答弁 回覧板の様な地域に密着した情報の発信強化や、市民が知りたい情報を分かり易く伝えるAIチャットボットの充実、また先進自治体の事例を参考に、内容をバージョンアップしたいと考えています。更に電子申請手続は、やまなしくらしねっとへのリンク付けや、LINEの使い易さを生かした市民アンケート、市民からの情報提供といった機能や、防災機能の充実を図っていききたいと思えます。

質問 市からの情報や、市民が必ず要とする情報が迅速かつ正確に伝える事が重要です。

答弁 回覧板の様な地域に密着した情報の発信強化や、市民が知りたい情報を分かり易く伝えるAIチャットボットの充実、また先進自治体の事例を参考に、内容をバージョンアップしたいと考えています。更に電子申請手続は、やまなしくらしねっとへのリンク付けや、LINEの使い易さを生かした市民アンケート、市民からの情報提供といった機能や、防災機能の充実を図っていききたいと思えます。

質問 市からの情報や、市民が必ず要とする情報が迅速かつ正確に伝える事が重要です。

答弁 回覧板の様な地域に密着した情報の発信強化や、市民が知りたい情報を分かり易く伝えるAIチャットボットの充実、また先進自治体の事例を参考に、内容をバージョンアップしたいと考えています。更に電子申請手続は、やまなしくらしねっとへのリンク付けや、LINEの使い易さを生かした市民アンケート、市民からの情報提供といった機能や、防災機能の充実を図っていききたいと思えます。

質問 市からの情報や、市民が必ず要とする情報が迅速かつ正確に伝える事が重要です。

答弁 回覧板の様な地域に密着した情報の発信強化や、市民が知りたい情報を分かり易く伝えるAIチャットボットの充実、また先進自治体の事例を参考に、内容をバージョンアップしたいと考えています。更に電子申請手続は、やまなしくらしねっとへのリンク付けや、LINEの使い易さを生かした市民アンケート、市民からの情報提供といった機能や、防災機能の充実を図っていききたいと思えます。



市の公式LINE
QRコード

総務産業常任委員会

委員長 長田喜巴夫
副委員長 尾形幸召
委員 山口 薫
白鳥純雄
東山洋昭
杉本公文
岡部幸喜
尾形重寅

5月13日閉会中の調査として、「地域資源の活用方法について」視察を行いました。

都留市の小水力発電施設については、家中川を利用した「元気くん1号・2号・3号」を市民参加型で設置したとのことです。3基とも教育や見学の面を考慮し開放型となっており、2号は有効落差が大きいため最も発電量が多く、3号は少ない落差で発電できる省スペース型となっています。

次に市内のサテライトオフィス2件を視察しました。松留の物件は築300年の古民家を改装した、コワーキングと宿泊を兼ねた施設で、月額料金を払うことで、同社が運営する他施設も利用できるということです。

新田の見晴亭は、2階にシェアオフィスとコワーキングスペースがあり、1階はイベントやセミナーの場で市民も活用で

きるということです。

駅南口のワインウオールウエノハラは、試飲ができ販売効果が十分に認められたとのことでした。

小水力発電については、市として設置が可能か検討すること、サテライトオフィスについては、運営者と連携し支援していくこと、ワインウオールウエノハラについては、顧客獲得に努め、市のアピールに繋げることを要望しました。



小水力発電施設 元気くん1号

文教厚生常任委員会

委員長 内田倫弘
副委員長 杉本友栄
委員 八木一雄
遠藤美智子
川田好博
川島秀夫
山口好昭

5月10日閉会中の継続調査として、「桂川テニス兼フットサル場の改修状況について」調査を行いました。

このコートについては、平成29年第4回定例会において、「テニスコート改修に関する請願書」が採択されてから、数年間に渡る検討・協議を重ね、本年3月に改修工事を完了し、4月4日から施設利用を開始しています。

改修内容は、土のテニス場を、フットサルコートと兼用の砂入り人工芝コートに改修しました。

改修費用は、総額3千357万5千253円で、財源は、地域環境整備基金から1千万円、公共施設整備基金から1千608万円、島田財産区から750万円を充当しました。

委員からは、桂川テニス兼フットサル場を市内の小・中学

校に貸したり、県内における大会の一部や練習試合をこのコートで行う等、工夫しながら活用すべき、との意見が出されました。

桂川テニス兼フットサル場については、改修後も市民の意見を聞き、より使い易いものにしていくと共に、フットサル利用者の確保もできる様、担当課に、周知に努めることを要望しました。



桂川テニス兼フットサル場

議会活性化特別委員会

議員定数・議員報酬について調査

平成31年第1回定例会で2年間の期限で設置された議会活性化特別委員会は、令和3年第1回定例会で調査期限を延長し、議員定数及び議員報酬について、議会基本条例の制定についての2項目に絞って調査を進めてきました。

議員報酬については、令和3年9月に市長に対して特別職報酬等審議会に諮ることを要請しました。議員定数については、本年3月に2名削減するとの意見が大半を占め、今議会で発議することとなりました。

議会基本条例の制定については、小委員会を設置し、素案を提示するまで討議を進めてきています。

発議第4号 上野原市議会議員定数条例の一部を改正する条例制定について

発議

議員定数を2名減、14名に

人口減少や市財政の観点から議員定数を削減します。市民の声が反映しづらくなるという意見がありました。起立多数で可決されました。次回の一般選挙から実施。

議案第69号

上野原市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例制定について

条例改正

議員報酬を改定

特別職報酬等審議会の答申及び社会経済情勢から、下記のように議員報酬の改定を行います。

審議会答申では、「議員定数削減に併せて実施することにより捻出される財源内で議員報酬の増額を検討されたい」としています。

議員定数と議員報酬は連動されるべきではない、値上げする環境にはないとの意見が出されました。起立多数で可決されました。

施行日 令和5年2月13日

議員	260,000円	→	300,000円
委員長	265,000円	→	300,000円
副議長	280,000円	→	310,000円
議長	310,000円	→	340,000円

表彰

全国市議会議長会表彰

15年勤続



山口好昭議員



長田喜巳夫議員

市民の声

上野原の新しい交流拠点を目指して

私はこの春に上野原駅北口でコミュニティスペースを始めました。

この場所の目的は、1つ目は学生と社会人の交流機会を作ることです。上野原においては、学生が社会人とふれあう場が少なく、将来の職業を考える機会が少ないように感じます。そのため、学生のうちから様々な職業の人と交流することで、将来の選択肢がもっと広がるのではないのでしょうか。



コミュニティスペース見晴亭
小俣卓充さん

2つ目は、移住者の方との交流機会を作ることです。今上野原は東京に近い田舎として注目され、魅力的な移住者の方が増えてますが、そういった方との接点が少なく、お互いを知る機会が無いことがとても勿体ないと感じています。双方の交流機会を作ること、上野原の新たな魅力に気づき、もっとこの街が好きになってくれたらいいなと思います。そんなきっかけとなる場所を目指していきたいです。

9 月定例会予定

日	月	火	水	木	金	土
8/28	29	30	31	9/1 本会議 (初日) 傍聴可	2 議案調査	3
4	5 委員会 予算特別	6 議案調査	7 委員会 総務産業 文教厚生	8 議案調査	9 委員会 決算特別	10
11	12 委員会 決算特別	13 議案調査	14 委員会 決算特別	15 議案調査	16 本会議 一般質問 傍聴可	17
18	19 敬老の日	20 本会議 一般質問 傍聴可	21 本会議 一般質問 (予備日)	22 本会議 (最終日) 傍聴可	23 秋分の日	24

議会の傍聴について

通常の傍聴には予約の必要はありません。傍聴当日、3階議会事務局受付までお越しください。

委員会の傍聴については、委員長の許可が必要です。

託児サービスをご利用ください



市議会では、一般質問を傍聴する際、満1歳以上から就学前までのお子さんを無料でお預かりする託児サービスを実施しております。

ご希望の場合は、傍聴希望日の1週間前までに、議会事務局（62-3344）へお申し込みください。

編集後記

6月中の梅雨明け、その後の猛暑等温暖化に伴う気候変動は益々深刻さを増し、世界各地で農作物等に影響が出ています。国連では「温暖化は人間が原因であり、このままでは社会や経済に破局的な影響が生ずる」、「今こそ温室効果ガス削減、森林保護、ノーミート、食品ロス等の対策が必要だ」と警鐘を鳴らしています。私たち一人ひとりが出来る対策を考え、行動することが大切であると思います。当市の温暖化対策が一層進むことを望みます。本誌も更に充実した内容になるよう努力し、皆さまの期待に応えられるよう頑張りたいと思います。(山口薫)



YouTube
QRコード



議会だよりの
QRコードです



議会だより編集常任委員会
委員長 川田 好博
副委員長 山口 薫
委員 内田 倫弘
委員 八木 一雄
委員 白鳥 純雄
委員 遠藤美智子